

ビジネスウーマン交流会実施事業【山形県】

総事業費	1,318 千円
交付金額	659 千円

地域の実情と課題

本県女性の状況をみると、社会進出に関する指標は全国トップクラスであり、①正規職員・従業員に占める女性の割合は53.0%で全国第2位、②子を育てながら働く女性の割合は79.0%で全国第4位である（H29就業構造基本調査）。また、夫婦の共働き率（就業者のいる夫婦世帯における割合）は71.2%で全国第1位と高い状況にある（H27国勢調査）。

事業の特徴

グループワークのテーマについて、複数テーマを設けることで、幅広い業種の女性の参加を促し、交流を図った。更に、交流会の様子を通信にしてまとめることで、参加者の振り返りに活用してもらうとともに、県民への周知につなげ、県全体の意識醸成を図った。

事業の効果

参加者に対してアンケートを実施したところ、第1部、第2部ともに「大変有意義」「有意義」と回答した参加者の割合が9割を超えた。また、「キャリアアップにチャレンジできるのではないかと希望が持てた」「同じ悩みを持つ女性の話聞いて心強かった」などの声が多数寄せられ、女性の意識に前向きな変化が見られた。

目的・目標

県内で働く女性が交流し、悩みや課題を共有することで、モチベーションアップや意識改革につなげるとともに、県内で働く中長期的なキャリア・ライフイメージを持ってもらう。

- ・参加者数
目標70名 実績86名

連携団体

- ・やまがた女性活躍応援連携協議会
- ・県内市町村
- ・やまがたイクボス同盟

今後の課題

女性を含む多様な人材が活躍するためには、女性自身の意識啓発やスキルアップ以外にも職場環境の改善や男性の家事・育児への参画が必要となるため、多方面に向けた施策が必要。

事業の概要

事業概要

県内で働く女性等が悩みや課題を共有することで、モチベーションアップや意識改革につなげるとともに、県内で働く中長期的なキャリア・ライフイメージを持ってもらう交流会をオンラインで開催。

開催実績

ビジネスウーマン交流会 R5.2.7(火) オンライン開催

■ 対象：県内で働く女性・働きたい女性

・第1部【パネルディスカッション】

《パネリスト》

荒井愛氏(愛和建设株式会社)

石川昭子氏(株式会社スプリングス)

鈴木優美氏(山形朝日株式会社)

《テーマ》「私らしく輝く！～それぞれのキャリアアップ～」

・第2部【セミナー・交流会】

講師兼ファシリテーターを設置し、6つのテーマで2回実施

①アンガーマネジメント②キャリアデザイン③コミュニケーション

④リーダーシップ⑤メンタルヘルス⑥アサーション



事業目標

(目標) 参加者数:70人 ⇒ (事業実績) 86人

アンケート結果・参加者からの声

- ・第1部、第2部いずれも、「大変有意義」「有意義」と回答した参加者の割合が9割を超えた。
- ・「失敗を恐れず挑戦しようと思えた」「他業種の人との貴重な交流の機会を持てた」などの声が多数。